

平成30年度

〔 自 平成30年 4 月 1 日
至 平成31年 3 月31日 〕

事業計画

長野県農業共済組合

1 事業計画

平成30年度組合重点事項

1. 基本方針

農業・農村の構造変化する中、政府は、「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂し、「強い農林水産業と美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて改革を展開している。これらの改革の中で、農業災害補償法の一部改正が行われ、農業共済制度と収入保険制度による「農業保険の制度を確立し、もって農業の健全な発展に資すること」を目的とした「農業保険法」が平成30年度から施行される。

このような状況の下、農業共済制度と収入保険制度を取扱う団体として、農業者への丁寧な説明等が必要である。いままで以上に農業の現場に足を運び、「備えあれば憂いなし」の農業生産体制の構築に向けて、両制度を総合的に展開し、農業経営のセーフティネットを確実に広げるべく加入推進に努める。

また、農業共済制度の見直しによる無保険者の発生を防ぐため、収入保険制度への加入や他の引受方式への円滑な移行を図るべく普及推進に取り組む。

更に、業務運営の合理化・効率化と業務改善を行うとともに、コンプライアンス態勢をより強化し、地域及び農家から信頼される組織として一層農家の経営安定を図ることを基本方針として、次の事項を重点に全力で取り組むこととする。

(1) 農業経営収入保険事業の推進

ア 制度の普及・推進、青色申告者の把握と加入推進を図る。

イ 関係機関・団体と連携した県段階・地域段階での推進体制の確立・発展を図る。

ウ 地域センターごとに重点経営体、重点品目等を定め、推進強化を図る。

(2) 農業共済制度見直しに伴う加入推進体制の確立

ア 当然加入制の廃止から任意加入制への移行に伴う無保険者の発生阻止に向けた推進体制を構築する。

イ 果樹共済引受拡大に向けた推進体制を強化する。

ウ 園芸施設共済引受拡大に向けた推進体制を強化する。

エ 建物共済仕組み改善に伴う引受拡大に向けた推進体制を強化する。

(3) 損害防止活動の今後の展開

ア 費用対効果の追及、既存の損害防止の見直しを行う。

イ 大規模農家への損害防止事業を充実する。

(4) 普及広報活動の展開

ア 収入保険制度に係る普及広報を展開する。

イ 農業共済制度見直しに係る普及広報を展開する。

ウ 建物共済仕組み改善に係る普及広報を展開する。

(5) 組織体制の強化と整備

ア 収入保険制度の加入促進及び農業共済制度の事業維持に向けた本所・地域センター・支所の体制を整備する。

イ コンプライアンス態勢の維持・強化する。

ウ 情報セキュリティ対策を徹底する。

エ 職員の働き方及び意識改革を促進する。

オ 業務の効率化及び経費の節減に努める。

カ 全国農業共済組合連合会との連携を構築する。

1. 平成30年度事業計画書

(1) 共済目的の種類別引受計画

項 目	共済目的等	組合員数	農 作 物 共 済 (ha)					農作物計	成乳牛	育成乳牛	乳 用 子牛等 (胎児)
			水 稻		麦						
			一筆	全相殺	一筆	全相殺	災害収入				
東 信		31,916	6,372		334		17	6,723	3,566	272	2,800 (2,589)
南 信		27,956	7,516	159	435	9		8,118	4,026	469	1,998 (1,881)
中 信		28,467	9,794		46	266	1,227	11,333	1,898	250	1,037 (961)
北 信		26,658	4,619	35	89		85	4,829	1,019	134	128 (116)
共済目的の概数			32,127		2,940			35,067	13,205	1,697	13,881 (13,205)
前年度引受実績			29,154		2,546			31,700	11,249	1,263	6,287 (5,827)
本年度引受計画合計		114,997	28,495		2,508			31,003	10,509	1,125	5,963 (5,547)
本年度引受予定(%)		－	88.7		85.3			88.4	79.6	66.3	43.0

項 目	共済目的等	家畜共済 死亡廃用共済 31年1月から3月引受分 (頭)										
		搾乳牛	繁殖用雌 牛	育成乳牛	育 成 肥育牛	繁殖用雌 馬	育 成 肥育馬	種 豚	肉 豚	種雄牛	種雄馬	小計
東 信		1,289	254	1,388	934							3,865
南 信		214	269	165	1,411			2		1		2,062
中 信		301	216	309	922	22	9	200		1	3	1,983
北 信		50	12	6	741			88				897
共済目的の概数		13,205	3,753	15,578	20,765	29	12	5,843	64,935	11	3	124,134
前年度引受実績		1,916	778	1,934	4,032	23	10	345		2	3	9,043
本年度引受計画合計		1,854	751	1,868	4,008	22	9	290		2	3	8,807
本年度引受予定(%)		14.0	20.0	12.0	19.3	75.9	75.0	5.0		18.2	100	7.1

家畜共済 4月から12月引受分 (頭)									
肥育用 成 牛	肥育用 子 牛	その他の 肉用成牛	その他の肉 用子牛等 (胎児)	一般馬	種豚	肉豚	種雄牛	種雄馬	小計
2,171	225	721	775 (741)		205		2		10,737 (3,330)
1,775	120	808	703 (699)	1			2		9,902 (2,580)
863	145	1,004	1,036 (976)	2	293	2,350	2		8,880 (1,937)
1,304	43	119	120 (120)	3			3		2,873 (236)
15,640	1,189	3,753	3,936 (3,564)	41	5,843	64,935	11	3	124,134 (16,769)
6,028	550	2,738	2,730 (2,626)	8	500	2,400	9		33,762 (8,453)
6,113	533	2,652	2,634 (2,536)	6	498	2,350	9		32,392 (8,083)
39.1	44.8	70.7	66.9	14.6	8.5	3.6	81.8		26.1

家畜共済 疾病傷害共済 31年1月から3月引受分 (頭)							家畜計
乳用牛	肉用牛	一般馬	種 豚	種雄牛	種雄馬	小計	
1,531	944					2,475	17,077
236	1,382		2	1		1,621	13,585
377	935	31	200	1	3	1,547	12,410
56	739		88			883	4,653
15,578	20,954	41	5,843	11	3	42,430	290,695
2,300	4,019	33	345	2	3	6,702	49,507
2,200	4,000	31	290	2	3	6,526	47,725
14.1	19.1	75.6	5.0	18.2	100	15.4	16.4

共済目的等 項 目	果 樹										
	り ん ご					ぶ ど う					
	半相殺方式		災害収入	樹園地単位		半相殺方式			災害収入	樹園地 単位	
	短縮	特定危険	共済方式	短縮	特定危険	一般	短縮	特定危険	共済方式	短縮	特定危険
東 信	199	16			67	24	26				
南 信	63	170			76		3				
中 信	43	477			145	20	71	8		28	17
北 信	188	442		89	207	13	45	12	7	13	6
共済目的の概数	7,560					2,300					
前年度引受実績	2,089					287					
本年度引受計画合計	2,182					291					
本年度引受予定(%)	28.9					12.7					

項 目	共済目的等 ばれいしょ (ha)	畑 作 物 共 済							ガ ラ ス 室		
		大 豆		そ ば (ha)	蚕 繭 (箱)				Ⅰ 類	Ⅱ 類	Ⅰ 類
		一筆・半相殺 (ha)	全相殺 (ha)		春蚕繭		初秋蚕繭	晩秋蚕繭			
					発芽期前	発芽期					
東 信		333		83						16	
南 信		127		19	39.00		31.00	35.00		78	
中 信		7	852	607						49	1
北 信		69	41	48		0.80				8	
共済目的の概数		2,214		4,213	39.80		31.00	35.00		433	1
前年度引受実績		1,398		702	41.39		32.47	37.18		157	1
本年度引受計画合計		1,429		757	39.80		31.00	35.00		151	1
本年度引受予定(%)		64.5		18.0	100.0		100.0	100.0		34.9	100.0

共 済 (ha)												
な し					も も					か き	すもも	果樹計
半相殺方式		災害収入	樹園地単位		半相殺方式		災害収入	樹園地単位		半相殺方式	災害収入	
短縮	特定危険	共済方式	短縮	特定危険	短縮	特定危険	共済方式	短縮	特定危険	短縮	共済方式	
4					9	4			1			350
41	66			31	5					27		483
11	40			5	12	3						878
24	4		1	4	44	9	8	14			28	1,158
864					1,050					652	386	12,812
217					104					26	27	2,751
231					109					27	28	2,868
26.7					10.3					4.2	7.3	22.4

園 芸 施 設 共 済 (棟)							任 意 共 済		
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス						園芸施設 計	建 物	農機具	
Ⅱ類	Ⅲ類	Ⅳ類		Ⅴ類	Ⅵ類			損 害	更 新
		甲	乙				(棟)	(台)	(台)
4,085	65	85	85	65	902	5,303	27,830	1,254	30
5,342	94	94	112	57	134	5,911	32,331	1,483	43
3,703	51	29	31	42	68	3,974	32,850	2,274	97
1,884	81	29	36	20	19	2,077	29,053	1,142	22
25,508	678	397	567	420	1,752	29,756	－	－	
14,766	261	232	255	186	1,209	17,067	122,101	5,962	241
15,014	291	237	264	184	1,123	17,265	122,064	6,153	192
58.9	42.9	59.7	46.6	43.8	64.1	58.0	－	－	－

(2) 農業共済保険事業の規模

ア 農作物、家畜、果樹、畑作物、園芸施設共済事業の規模

共済目的等			項 目		共済金額	共 済 掛 金			保険料	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	
			本年度予定	前年度実績		総 額 A=B+C	国庫負担金 B	農家負担金 C				
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
農作物	水 稲	一 筆	a	2,830,048	2,895,605	22,996,685	23,916	11,958	11,958	230	11,728	23,686
		kg	120,651,920	123,446,088								
		全 相 殺	a	19,423	19,839	188,436	3,333	1,666	1,667	1,959	△ 293	1,374
			kg	970,118	990,901							
	小 計	a	2,849,471	2,915,444	23,185,121	27,249	13,624	13,625	2,189	11,435	25,060	
		kg	121,622,038	124,436,989								
	麦	一 筆	a	90,464	94,797	224,186	8,448	4,336	4,112	1,481	2,855	6,967
		kg	20,718,347	2,171,075								
		全 相 殺	a	27,508	27,239	51,806	4,130	2,195	1,935	870	1,325	3,260
			kg	879,121	870,537							
		災 害 収 入	a	132,858	132,563	501,294	40,595	21,603	18,992	8,053	13,550	32,542
			kg	728,093,191	726,476,521							
		小 計	a	250,830	254,600	777,286	53,173	28,134	25,039	10,404	17,730	42,769
			kg	-	-							
	合 計	a	3,100,301	3,170,043	23,962,407	80,422	41,758	38,664	12,593	29,165	67,829	
		kg	-	-								
家畜 (四月から十二月引受分)	成 乳 牛	頭	10,509	11,249	1,993,711	283,186	141,593	141,593	123,899	17,694	159,287	
	育 成 乳 牛	頭	1,125	1,263	115,731	5,575	2,787	2,788	2,356	431	3,219	
	乳 用 子 牛 等	頭	5,963	6,287	307,844	26,453	13,226	13,227	12,397	829	14,056	
	(胎 児)	頭	5,547	5,827	274,634	0	0	0	0	0	0	
	肥 育 用 成 牛	頭	6,113	6,028	1,161,737	42,391	21,195	21,196	19,000	2,195	23,391	
	肥 育 用 子 牛	頭	533	550	58,520	7,302	3,651	3,651	3,434	217	3,868	
	その他の肉用成牛	頭	2,652	2,738	563,334	20,984	10,492	10,492	9,075	1,417	11,909	
	その他の肉用子牛等	頭	2,634	2,730	206,191	19,441	9,720	9,721	8,857	863	10,584	
	(胎 児)	頭	2,536	2,636	195,007	0	0	0	0	0	0	
	一 般 馬	頭	6	8	1,169	24	12	12	12	0	12	
	種 豚	頭	498	500	11,295	1,053	421	632	527	△ 106	526	
	肉 豚	頭	2,350	2,400	20,700	10	4	6	5	△ 1	5	
	小 計	頭	32,383	33,753	4,440,232	406,419	203,101	203,318	179,562	23,539	226,857	
	種 雄 牛	頭	9	9	5,365	290	145	145	143	2	147	
	種 雄 馬	頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小 計	頭	9	9	5,365	290	145	145	143	2	147	
	合 計	頭	32,392	33,762	4,445,597	406,709	203,246	203,463	179,705	23,541	227,004	
家畜 (一月から三月引受分)	死亡 廃用共済	搾 乳 牛	頭	1,854	1,916	314,462	20,616	10,308	10,308	10,310	△ 2	10,306
		繁殖用雌牛	頭	751	778	140,160	1,788	894	894	895	△ 1	893
		育成乳牛	頭	1,868	1,934	92,079	4,584	2,292	2,292	2,293	△ 1	2,291
		育成肥育牛	頭	4,008	4,032	576,199	10,250	5,124	5,126	5,128	△ 4	5,122
		繁殖用雌馬	頭	22	23	5,062	88	44	44	44	0	44
		育成肥育馬	頭	9	10	2,170	38	19	19	19	0	19
		種 豚	頭	290	345	10,917	570	228	342	285	△ 57	285
		肉 豚	頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小 計	頭	8,802	9,038	1,141,049	37,934	18,909	19,025	18,974	△ 65	18,960
		種 雄 牛	頭	2	2	920	42	21	21	21	0	21
		種 雄 馬	頭	3	3	970	77	38	39	38	0	39
		小 計	頭	5	5	1,890	119	59	60	59	0	60
		合 計	頭	8,807	9,043	1,142,939	38,053	18,968	19,085	19,033	△ 65	19,020
	家畜 疾病 傷害共済	乳 用 牛	頭	2,200	2,300	115,683	8,337	4,168	4,169	3,839	329	4,498
		肉 用 牛	頭	4,000	4,019	143,839	3,376	1,687	1,689	1,358	329	2,018
		一 般 馬	頭	31	33	613	2	1	1	1	0	1
		種 豚	頭	290	345	2,735	112	56	56	51	5	61
		小 計	頭	6,521	6,697	262,870	11,827	5,912	5,915	5,249	663	6,578
		種 雄 牛	頭	2	2	163	2	1	1	1	0	1
		種 雄 馬	頭	3	3	69	2	1	1	1	0	1
		小 計	頭	5	5	232	4	2	2	2	0	2
	合 計	頭	6,526	6,702	263,102	11,831	5,914	5,917	5,251	663	6,580	
家畜年度計			頭	47,725	49,507	5,851,638	456,593	228,128	228,465	203,989	24,139	252,604

項 目 共済目的等				引 受		共済金額	共 済 掛 金			保険料	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金	
				本年度予定	前年度実績		総 額 A=B+C	国庫負担金 B	農家負担金 C				
						千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
果	りんご	半相殺	短 縮	a	49,287	49,520	1,408,564	80,033	40,017	40,017	46,694	△ 6,678	33,339
			特定危険	a	110,563	102,636	4,061,812	134,397	67,198	67,198	85,148	△ 17,950	49,249
			災害収入	a	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		樹園地	短 縮	a	8,907	8,643	260,577	12,970	6,485	6,485	9,146	△ 2,661	3,824
			特定危険	a	49,457	48,112	1,559,405	35,502	17,751	17,751	19,997	△ 2,246	15,506
		小 計	a	218,214	208,910	7,290,358	262,902	131,451	131,451	160,985	△ 29,534	101,917	
	ぶどう	半相殺	一 般	a	5,640	5,499	249,500	8,061	4,031	4,031	3,277	754	4,785
			短 縮	a	14,462	14,245	698,339	17,401	8,701	8,701	6,434	2,266	10,967
			特定危険	a	1,913	1,928	116,827	1,200	600	600	336	265	865
			災害収入	a	698	697	49,304	985	493	493	444	49	542
		樹園地	短 縮	a	4,076	3,918	119,861	1,820	910	910	496	415	1,325
			特定危険	a	2,337	2,453	103,762	1,070	535	535	187	348	884
		小 計	a	29,126	28,739	1,337,593	30,539	15,270	15,270	11,173	4,097	19,366	
	なし	半相殺	短 縮	a	8,065	7,494	383,416	28,387	14,193	14,193	19,169	△ 4,975	9,218
			特定危険	a	10,899	10,378	625,079	36,615	18,307	18,307	25,093	△ 6,786	11,521
			災害収入	a	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		樹園地	短 縮	a	100	100	2,768	75	37	37	40	△ 3	35
			特定危険	a	4,006	3,776	182,103	6,016	3,008	3,008	3,621	△ 613	2,395
		小 計	a	23,070	21,748	1,193,366	71,092	35,546	35,546	47,923	△ 12,377	23,169	
	もも	半相殺	短 縮	a	7,023	6,584	271,690	11,816	5,908	5,908	6,342	△ 434	5,474
			特定危険	a	1,578	1,413	60,086	1,384	692	692	676	16	708
			災害収入	a	788	728	22,876	841	421	421	492	△ 72	349
		樹園地	短 縮	a	1,375	1,536	43,623	924	462	462	393	70	532
			特定危険	a	100	110	3,250	52	26	26	20	6	32
		小 計	a	10,864	10,371	401,525	15,017	7,509	7,509	7,923	△ 414	7,095	
果	かき	半相殺	短 縮	a	2,737	2,623	34,253	1,062	531	531	586	△ 55	476
			小 計	a	2,737	2,623	34,253	1,062	531	531	586	△ 55	476
	すもも		全相殺	a	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			災害収入	a	2,812	2,673	126,538	8,352	4,176	4,176	4,100	76	4,252
			小 計	a	2,812	2,673	126,538	8,352	4,176	4,176	4,100	76	4,252
		合 計	半相殺	一 般	a	5,640	5,499	249,500	8,061	4,031	4,031	3,277	754
			短 縮	a	81,574	80,467	2,796,262	138,699	69,350	69,350	79,225	△ 9,875	59,475
			特定危険	a	124,953	116,354	4,863,804	173,595	86,798	86,798	111,253	△ 24,455	62,343
			全相殺	a	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		災害収入	a	4,298	4,098	198,718	10,178	5,089	5,089	5,036	53	5,142	
	樹園地	短 縮	a	14,458	14,197	426,829	15,790	7,895	7,895	10,074	△ 2,180	5,715	
		特定危険	a	55,900	54,451	1,848,520	42,641	21,320	21,320	23,825	△ 2,505	18,816	
		計	a	286,823	275,065	10,383,633	388,965	194,482	194,482	232,689	△ 38,207	156,275	
畑	大豆	ばれいしょ		a	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			一 筆	a	53,567	51,170	170,553	2,728	1,500	1,228	437	1,063	2,291
			全相殺	a	89,340	88,598	325,949	7,496	4,122	3,374	3,065	1,057	4,431
			小 計	a	142,907	139,768	496,502	10,224	5,622	4,602	3,502	2,120	6,722
	そ ば		a	75,688	70,165	124,883	9,240	5,082	4,158	6,512	△ 1,430	2,728	
	作 物	春蚕繭		箱	39.00	41.00	2,321	30	15	15	17	△ 2	13
				kg	1,094	1,150							
				箱	0.80	1.00	54	2	1	1	1	△ 0	1
				kg	19	24							
		小 計	箱	39.80	42.00	2,375	32	16	16	18	△ 2	14	
			kg	1,113	1,174								
		繭	初秋蚕繭	箱	31.00	32.00	1,464	12	6	6	10	△ 4	2
				kg	786	811							
			晩秋蚕繭	箱	35.00	37.00	2,117	20	10	10	5	5	15
				kg	998	1,055							
		計	箱	105.80	111.00	5,956	64	32	32	33	△ 1	31	
			kg	2,897	3,040								
	合 計			—	—	627,341	19,528	10,736	8,792	10,047	689	9,481	

項 目 共済目的等			引 受		共済金額	共 済 掛 金			保険料	交付金又は 納入保険料	手持共済掛金		
			本年度予定	前年度実績		総 額 A=B+C	国庫負担金 B	農家負担金 C					
					千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
園 芸 施 設	ガ ラ ス 室	I 類	棟	0	0								
		II 類	棟	151	157	611,272	899	439	127	312	772		
	プラスチック ハウス	I 類	棟	1	1	180	2	1	1	0	1		
		II 類	棟	15,014	14,766	4,544,304	134,368	66,883	67,485	48,480	18,403	85,888	
		III 類	棟	291	261	516,216	9,861	4,919	4,942	3,928	991	5,933	
		IV 類	甲	棟	237	232	510,218	3,431	1,711	1,720	1,131	580	2,300
			乙	棟	264	255	887,417	4,077	1,996	2,081	1,484	512	2,593
		V 類	棟	184	186	440,305	2,665	1,329	1,336	1,154	175	1,511	
		VI 類	棟	1,123	1,209	375,358	10,212	5,092	5,120	3,893	1,199	6,319	
	合 計		棟	17,265	17,067	7,885,270	165,515	82,370	83,145	60,198	22,172	105,317	
総 計				—	—	48,710,289	1,111,023	557,474	553,548	519,516	37,958	591,506	

(注) ラウンドのため、引受の前年度実績の小計・計とその内訳は一致しない場合がある。
交付金又は納入保険料欄の、正数は交付金、負数は納入保険料。

イ 任意共済事業の規模

共済目的等		項 目		引 受		共済金額	共済掛金			再共済掛金	再共済手数料	手持共済掛金											
				本年度予定	前年度実績		総 額 A=B+C	純掛金 B	賦課金 C														
						千円	千円	千円	千円	D	千円	E	千円	F=B-(D-E)	千円								
共 済 関 係	建 物	総 合	棟	17,370	17,250	155,375,060	340,551	256,091	84,460	138,121	28,030	146,000											
		火 災	棟	104,694	104,851	1,296,114,650	900,586	495,937	404,649	270,176	109,242	335,003											
		小 計		122,064	122,101	1,451,489,710	1,241,137	752,028	489,109	408,297	137,272	481,003											
	農機具損害共済	台	6,153	5,962	12,644,000	54,368	36,515	17,853	-	-	54,368												
	農機具更新共済	台	192	241	348,220	53,310	52,814	496	-	-	53,310												
	合 計			-	-	1,464,481,930	1,348,815	841,357	507,458	408,297	137,272	588,681											
建物再共済割合:地震部分50%、地震以外30%															建物再共済手数料割合(平均)			総合		20.29%	火災		40.43%

(3) 引受計画と実施方策

農業経営収入保険事業

ア 引受計画

全国農業共済組合連合会の目標 10 万経営体のうち、長野県の青色申告者数をもとに、組合加入目標を 4,500 経営体とする。

イ 実施方策

(ア) 収入保険制度の普及、青色申告者（加入資格者）の把握と推進

- a 収入保険制度に関する問合せ窓口を常設する。
- b N O S A I の広報媒体や関係機関の広報紙等を活用して制度の普及に努める。
- c 生産者団体構成員や認定農業者等へのアンケート調査等による青色申告者の把握と推進を図る。
- d J A ・普及センター等の関係機関と連携し、認定農業者、農業法人、集落営農等に対し、制度説明し周知を図る。
- e 農業共済事業の加入推進・農家訪問時に制度の普及と青色申告者の把握に努める。
- f J A ・農業委員会・税務署等と連携した青色申告の普及と青色申告者の把握に努める。

(イ) 関係機関・団体と連携した推進体制の維持・発展

- a 収入保険制度関係機関連絡会議と連携し収入保険制度推進体制の一層の強化を図る。
- b 収入保険制度関係機関連絡会議に属さない関係機関・団体との協力体制の構築を図る。

(ウ) 重点経営体、重点品目等の推進強化

- a 全ての収入保険制度加入資格者への普及推進に取り組む。
- b 生産者団体構成員への加入意向調査等を実施し、重点経営体、重点品目等を選定し推進強化を図る。
- c 認定農業者、農業法人、果樹栽培者、農業共済制度対象外の品目を栽培している農業者及び生産者団体への積極的な推進を図る。

農業共済事業

ア 農作物共済

(ア) 引受計画

- a 水稻の引受面積は、平成30年度長野米基本計画面積32,127haの88.7%、28,495haを計画する。
- b 麦の引受面積は、平成30年産麦生産振興目標面積2,940haの85.3%、2,508haを計画する。

(イ) 実施方策

- a 平成31年産からの任意加入制移行に伴い、農家ごとの経営に合わせた加入方式の選択が可能となるよう、全加入者への情報提供を実施する。
- b 農業再生協議会等の関係機関と連携した作付け状況を把握する。
- c 収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）加入者の完全引受を図る。
- d 集落営農組合、大規模農家、担い手農家等への積極的な加入推進を図る。
- e 麦耕作者の把握と全戸加入確認を行う。

イ 家畜共済

(ア) 引受計画

- a 乳用牛の引受頭数は、4月から12月分は17,597頭、1月から3月分の死亡廃用共済は3,722頭、疾病傷害共済は2,200頭を計画する。
- b 肉用牛の引受頭数は、4月から12月分は11,941頭、1月から3月分の死亡廃用共済は4,761頭、疾病傷害共済は4,002頭を計画する。
- c 種肉豚の引受頭数は、4月から12月分は2,848頭、1月から3月分の死亡廃用共済、疾病傷害共済とも290頭を計画する。

(イ) 実施方策

- a 有資格農家の把握と全戸加入推進を実施する。
- b 適正な引受と補償の充実を図る。
- c 制度改正を機会に、未加入者に対し理解を得られるきめ細かな推進を図る。

ウ 果樹共済

(ア) 引受計画

- a りんごの引受面積は、平成28年産結果樹面積7,560haの28.9%、2,182haを計画する。
- b ぶどうの引受面積は、平成28年産結果樹面積2,300haの12.7%、291haを計画する。
- c なしの引受面積は、平成28年産結果樹面積864haの26.7%、231haを計画する。
- d ももの引受面積は、平成28年産結果樹面積1,050haの10.3%、109haを計画する。
- e かきの引受面積は、平成28年産結果樹面積652haの4.2%、27haを計画する。
- f すももの引受面積は、平成28年産結果樹面積386haの7.3%、28haを計画する。

(イ) 実施方策

- a 有資格農家への全戸加入推進を実施する。
- b 加入率の低位な地域に重点をおいた加入推進を実施する。
- c J A等関係機関と連携した推進を展開する。
- d 機会あるごとに制度改正の周知を実施し、特定危険及び樹園地単位方式加入者の加入方式のスムーズな移行を促進する。

エ 畑作物共済

(ア) 引受計画

- a 大豆の引受面積は、平成30年産大豆生産振興目標面積2,214haの64.5%、1,429haを計画する。
- b そばの引受面積は、平成30年産そば生産振興目標面積4,213haの18.0%、757haを計画する。
- c 蚕繭の引受箱数は減少率を勘案して、年間106箱を計画する。

(イ) 実施方策

- a 農業再生協議会等の関係機関と連携した作付け状況の把握と有資格者の全戸加入推進を図る。
- b 大規模農家との接点強化を図り制度理解を進める。
- c 未加入者に対し理解を得られるきめ細かな推進を図る。
- d 畑作物直接支払交付金（ゲタ対策）対象者への積極的な加入推進を図る。
- e 一筆方式の廃止を踏まえ、経営に合わせた加入方式の選択が容易にできる情報を提供する。

オ 園芸施設共済

(ア) 引受計画

- a 引受棟数は、平成29年設置棟数29,756棟の58.0%、17,265棟を計画する。

(イ) 実施方策

- a 加入率の低い附帯施設、施設内農作物、撤去費用及び復旧費用の普及啓発を図る。
- b 有資格農家の把握と未加入者への全戸訪問を実施する。
- c 関係機関及びJ A生産部会等との連携を図り、会議等へ積極的に参加し加入を促進する。
- d 未加入者に対し制度改正の内容を周知するきめ細かな推進を図る。
- e 共済加入が要件化された各種補助事業の実施主体との連携を図り、対象者の完全加入を実施する。

カ 任意共済

(ア) 引受計画

- a 建物共済
前年度共済金額の101.0%、1兆4,515億円を計画する。
- b 農機具損害共済

前年度共済金額の99.9%、126億円を計画する。

c 農機具更新共済

保有共済金額3.5億円を計画する。

(イ) 実施方策

- a 制度共済加入者（任意共済未加入者）への加入を促進する。
- b 各種イベントへ積極的に参加し、制度のPRを行う
- c 提案型推進を展開する。
- d 農機具業務提携先との協力強化と新たな提携先へ協力依頼を行う。
- e 仕組み改善の内容の周知を図り、適正引受に努める

(4) 損害評価の適正化の方策

ア 農作物共済

- (ア) 関係機関からの情報収集等により、気象の変化と生育状況の推移を把握するとともに、現地調査を励行する等、適正な損害評価を実施する。
- (イ) 肥培管理等の状況についての的確な把握を行い、不適切、その他共済事故以外の原因による減収量については、適切な分割評価に努める。

イ 家畜共済

(ア) 完全引受による適正支払

牛個体識別事業を活用して異動状況を的確に把握し、適正支払に努める。

(イ) 死亡廃用事故共済金の適正支払

- a 廃用事故に係る立会い完全履行する。
- b 共済金の適正支払と農家の損害防止意識高揚のため、損害防止義務違反に係る免責基準を適正に適用する。

(ウ) 病傷事故共済金の適正支払

- a 獣医師に対し共済金の早期支払を目的に、病傷事故診断書の提出遅延や事故発生通知の遅延に対する免責基準を周知徹底するとともに、適正に免責基準を適用する。
- b 獣医師に対し、病傷事故適用細則及び給付基準の周知徹底を図り、共済金の適正支払を推進する。

(エ) 事故分析と事故発生防止対策

- a 事故増減の原因分析・対策を検討する。

(オ) 関係機関との連絡協調

- a 家畜共済臨床研究連絡協議会の活動を通じ、家畜共済事業概況や病傷事故給付基準の解釈、廃用基準の徹底とともに当該会員からの意見・要望等に基づく課題解決にあたる。
- b 家畜診療獣医師を対象とした研修会を開催し、診療技術の向上と家畜共済制度の一層の普及推進に努める。

ウ 果樹共済

- (ア) 関係機関からの情報収集等により、気象の変化と生育状況の推移を把握するとともに、栽培技術の習得と評価技術の向上に努め、適正な損害評価を実施する。
- (イ) 適正な基準収穫量の設定について検証を行う。
- (ウ) 被害発生状況を迅速に把握し、公平かつ適正な損害評価を実施する。
- (エ) 肥培管理等の状況についての的確な把握を行い、不適切、その他共済事故以外の原因による減収量については、適切な分割評価に努める。

エ 畑作物共済

- (ア) 関係機関からの情報収集等により、気象の変化と生育状況の推移を把握するとともに、現地調査を励行する等、適正な損害評価を実施する。
- (イ) 肥培管理等の状況についての的確な把握を行い、不適切、その他共済事故以外の原因による減収量については、適切な分割評価に努める。

オ 園芸施設共済

被災組合員からの損害発生通知の早期報告を徹底し、迅速かつ適正な損害評価と共済金の早期支払に努める。

カ 任意共済

罹災組合員からの速やかな事故発生通知と関係書類の提出を徹底し、共済金の早期支払に努める。

(5) 家畜診療所の運営

- ア 関係団体、指定・嘱託獣医師と連携を図り、畜産農家の経営安定と畜産振興に貢献する。
- イ 健全運営を確保するため、関係市町村、関係団体の支援を受けるとともに、家畜診療業務の効率化と経費節減に努める。
- ウ 長野県並びに国の指導を仰ぎながら安定的な家畜診療所運営と県域診療体制の構築を行う。
- エ 獣医系大学、NOSA I 協会との連携により獣医師の確保を図る。

(6) 損害防止事業の実施計画

- ア 地域のニーズに応じた損害防止事業を実施する。
- イ 地域の特色を生かした損害防止事業を検討する。
- ウ 損害防止事業の周知強化を図る。
- エ 関係機関と連携した鳥獣害対策の継続的支援と今後の対策事業を検討する。
- オ 法人等大規模農家等のニーズを調査し、新たな県下統一の実施策を検討する。
- カ 損害防止事業の実施により事業収支の安定と農家負担軽減を促進する。
- キ 電牧柵設置補助要件、収入保険加入作物への損害防止事業を検討する。
- ク 大規模農家への効率的な損害防止事業の実施を展開する。
- ケ 特定損害防止事業による疾病の防止と農家サービスの向上を図る。

(7) 執行体制の整備

ア 理事会及び監事会の開催

(ア) 理事会

制度の的確な運営を図るため理事会を6月、9月、11月及び3月に開催し、業務運営及び事務の執行方針について審議する。

(イ) 監事会

業務の適正な執行を期するため監事会及び定時監査を5月及び10月に開催する。

なお、監査機能の強化を図るため、公認会計士による会計指導により財務運営の適正化を図る。

(ウ) 役職員研修計画

No.	種 別	実施 時期	延日 数	対象者	備 考
1	新任職員研修会	4月	1日	新任職員	外部への参加
		4月	1日		1日で1か所開催
2	農業共済事業別事務講習会	4月 ～10月	5日	職 員	5日で1か所開催
3	収入保険制度研修会	5月 9月	2日	職 員	2日で1か所開催
4	任意共済損害評価研修会	6月	1日	職 員	1日で1か所開催
5	税務研修会	6月	1日	職 員	1日で1か所開催
6	係長以下職員研修会	6月	2日	職 員	2日で2か所開催
7	人事評価研修会	6月 10月	2日	職 員	2日で1か所開催
8	果樹共済損害評価研修会	7月	1日	職 員	1日で1か所開催
9	広報技術研修会	7月	1日	職 員	1日で1か所開催
10	コンプライアンス研修会 (セキュリティ研修を含む)	7月	4日	職 員	1日で4か所開催
11	役員研修会	9月	1日	理事 及び監事	1日で1か所開催
12	農業共済団体等診療獣医師講習会	10月	2日	診療所獣 医師及び 指定・嘱 託獣医師	2日で1か所開催
13	管理職研修会	12月	1日	職 員	1日で1か所開催

イ 事務体制の整備

本所1室2部6課、4地域センター、10支所の3体制及び6家畜診療所体制とし組織的・積極的な業務遂行により事業計画の達成に努める。

(8) 普及広報活動の展開

ア 収入保険制度に係る普及広報

(ア) 農業共済新聞、組合広報紙、組合ホームページ等に加えて、各関係機関、生産団体や行政庁等の外部広報媒体も活用して、収入保険制度の周知と青色申告の普及広報活動を展開する。

(イ) 新たに収入保険で対象となる経営体もあることから、農家・組合員との信頼関係を強固にするため、農業共済新聞等による普及広報活動を展開する。

イ 農業共済制度の改正に係る普及広報

農業共済制度の改正について丁寧な内容説明に努め、廃止される引受方式加入者が円滑に他方式へ移行されるよう普及広報活動を展開する。

ウ 建物共済仕組み改善に係る普及広報

仕組み改善及び加入資格基準の拡充をPRし、建物・農機具共済の加入が図れるよう普及広報活動を展開する。

(9) 組織運営の整備

ア 収入保険制度の加入促進及びNOSA I 制度の事業維持に向けた本所・地域センター・支所の体制を整備する。

イ コンプライアンス態勢の維持・強化

(ア) すべての役職員は、法令遵守等のもとより、社会の構成員として求められる価値観、倫理観に基づく誠実な行動に努める。

(イ) コンプライアンス取組状況等の把握を行い、コンプライアンス・プログラムを策定する。

(ウ) コンプライアンス意識を向上させるため、職場内研修会の実施及び各種研修会へ積極的に参加し、役職員全員の倫理意識の高揚を図る。

(エ) ガバナンス態勢を強化するため、監理室による内部けん制機能の充実を図る。

ウ 情報セキュリティ対策の徹底とシステム運用

(ア) 収入保険システムの導入に向けて、より強固な情報セキュリティ対策を実施する。

(イ) セキュリティ意識の向上のため、全ての役職員等に向けた研修及び訓練の継続的に実施する。

(ウ) 収入保険システム及びNOSA I 新システムの導入準備と円滑な運用を図る。

(10) 業務の効率化及び経費の節減

ア 従来の慣行等にとらわれることのない、業務経費の見直しを行う。

イ 必要性及び費用対効果を十分に検証し合理化を図り、支出削減を徹底する。

ウ 事務機械化とアウトソーシングを推進し、業務の効率化を図る。

(11) 基礎組織構成員（総代、NOSA I 部長、損害評価員）の体制整備

- ア N O S A I 部長の協力体制を維持するとともに、業務の効率化や支援体制を強化し、N O S A I 部長が活動しやすい環境づくりに努める。
- イ 迅速・的確な損害評価体制を維持するとともに、A I（人工知能）及び先端技術の研究・活用を含め、損害評価の労力軽減や簡素化について検討する。
- ウ 事業規模、農家数に応じた基礎組織構成員の体制等を検討する。
- エ 基礎組織構成員の選出にあたって、市町村、J A、集落等との連携に努める。
- オ 従来の体制を維持するため、積極的なコミュニケーション活動の展開を図る。

(12) 農業共済制度または収入保険制度への加入を促進し、農業生産体制の構築を支援するための役職員の資質向上に向けた対応

- ア 両制度の専門家となる人材を育成するため、役職員研修の計画的な実施に努める。
- イ 収入保険制度に係り、作目ごとの政策など農政全般の知識のほか、税・農業簿記等の専門知識を有し、農業経営改善の助言ができる職員の育成に取り組む。

(13) 職員の働き方及び意識改革

- ア 将来の労働力を確保し、事業を円滑に実施するため、業務の効率化を図りワークライフバランスのとれた職員皆が活躍できる職場づくりに取り組む。
- イ 適正な人員配置を検証し、労働時間格差の解消と労働の「質」を高めていく。
- ウ 長時間労働解消のため、適正な勤怠管理とノー残業デーの導入を積極的に勧める。

(14) 団体の社会的責任（C S R）活動・地域貢献活動への取り組み

- ア 全国統一的に取り組む「ふるさと見守り活動」を継続実施し、地域社会の安全と生活環境の保全に貢献し、地域社会とより良い関係を築く。
- イ 長野県警察本部と締結した「地域安全活動に関する協定」に基づく活動を継続し、地域の安全確保と防犯等に係る広報等活動を実施する。

(15) 予算統制の方針

- ア 事業計画の完全達成を図り、財源の確保に努める。
- イ 資金計画及び運用方針に基づき、効率的な資金運用により収入の確保に努めるとともに、併せて適正な支出を執行する。
- ウ 予算差引簿等により定期的に執行状況を把握し、計画的な執行に努める。
- エ 経常経費については、極力節減を図り財務の安定化に努める。

2 平成30年度業務収支予算書

(1) 業務収支予算明細

ア 収入の部

科 目	予 算 額			説 明
	本年度 千円	前年度 千円	増 減 千円	
前期繰越業務残金	13,965	45,737	△ 31,772	
受 取 補 助 金	1,294,765	1,288,815	5,950	(国庫補助金) 事務費国庫負担金 1,231,955 家畜共済損害防止事業交付金 2,371 (市町村補助金) 損害防止費補助金 3,362 加入奨励補助金 57,077
賦 課 金	136,390	139,316	△ 2,926	
事務費賦課金	133,465	136,950	△ 3,485	
水稻共済割	21,371	21,647	△ 276	面積割
麦共済割	1,254	1,273	△ 19	面積割
家畜共済割	49,955	54,100	△ 4,145	共済金額割
果樹共済割	41,535	40,713	822	共済金額割
ばれいしょ共済割	0	1	△ 1	面積割
大豆共済割	357	348	9	面積割
そば共済割	378	306	72	面積割
蚕繭共済割	12	11	1	共済金額割
園芸施設共済割	18,603	18,551	52	共済金額割
防災賦課金	2,925	2,366	559	共済金額割
受 託 収 入	36,000	1	35,999	収入保険業務受託収入
損 害 防 止 収 入	1	1	0	
受 取 利 息	236,079	245,000	△ 8,921	債券、預金利息
事 業 勘 定 受 入	507,458	513,917	△ 6,459	
農作物共済勘定受入	0	0	0	
家畜共済勘定受入	0	0	0	
果樹共済勘定受入	0	0	0	
畑作物共済勘定受入	0	0	0	
園芸施設共済勘定受入	0	0	0	
任意共済勘定受入	506,962	513,344	△ 6,382	建物・農機具損害共済事務費
農機具更新共済勘定受入	496	573	△ 77	農機具更新共済事務費

科 目	予 算 額			説 明
	本年度	前年度	増 減	
	千円	千円	千円	
拠出金払戻準備金戻入	1	1	0	
業 務 雑 収 入	23,113	19,799	3,314	事務所等賃貸収入
建 設 引 当 金 戻 入	1	1	0	
修 繕 引 当 金 戻 入	35,044	1	35,043	事務所等修繕費等
更 新 引 当 金 戻 入	3,751	8,930	△ 5,179	公用車更新
業 務 引 当 金 戻 入	1	1	0	
事業運営強化準備金戻入	66,464	56,300	10,164	果樹大規模支援事業、収入保険広告費等
事務機械化整備準備金戻入	177,104	15,857	161,247	制度改正に伴うシステム構築費用、 セキュリティ対策費用等
退職給与金施設預託金付加金収入	30,500	34,501	△ 4,001	
退職給与金施設転貸福祉貸付受取利息	237	101	136	
有 価 証 券 処 分 益	0	0	0	
業 務 財 産 処 分 益	1	1	0	
業 務 雑 利 益	1	1	0	
合 計	2,560,876	2,368,281	192,595	

イ 支出の部

科 目	予 算 額			説 明
	本年度 千円	前年度 千円	増 減 千円	
人 件 費	1,606,096	1,581,721	24,375	
役員報酬	20,320	20,195	125	理事23名、監事3名
職員給料手当	1,222,965	1,243,171	△ 20,206	職員204名
法定福利費	225,637	232,539	△ 6,902	社会保険料等
厚生福利費	15,426	14,815	611	傷害保険料、健康診断料等
退職給付引当金繰入	81,802	34,501	47,301	
退職給与金	176,913	213,522	△ 36,609	
(-)退職給付引当金戻入	△ 176,913	△ 213,522	36,609	
賃金	39,946	36,500	3,446	臨時職員
旅 費 交 通 費	8,732	10,028	△ 1,296	
役員旅費交通費	1,604	2,285	△ 681	
職員旅費交通費	7,128	7,743	△ 615	
事 務 費	135,733	109,596	26,137	
通信運搬費	76,505	51,581	24,924	電話、郵便、通信料等
図書印刷費	22,260	24,269	△ 2,009	各種資料印刷、図書購入等
消耗品費	27,826	24,738	3,088	事務用消耗品、システム関連消耗品等
手数料	9,142	9,008	134	口座振替手数料等
業 務 費	302,762	132,028	170,734	
会議費	4,259	5,334	△ 1,075	NOSAI部長会議、総代会、果樹推進会議等
交際費	1,262	1,456	△ 194	
講習会費	3,144	764	2,380	各種講習会等
業務支払利息	61	202	△ 141	リース料利息相当額
委託費	215,735	50,019	165,716	システム関連業務委託費等
報 酬	69,927	69,510	417	NOSAI部長報酬
委員等旅費	2,972	2,143	829	総代会出席旅費日当等
諸謝金	5,402	2,600	2,802	司法書士、会計事務所謝礼
普 及 推 進 費	133,767	150,803	△ 17,036	
広報費	22,421	13,215	9,206	広報紙、収入保険広告費等
事業奨励費	111,346	137,588	△ 26,242	事業推進費等
施 設 費	200,509	142,240	58,269	
光熱水費	19,777	19,932	△ 155	電気代、水道料等
備消耗品費	14,457	5,873	8,584	事務用備品等
燃料費	17,411	15,801	1,610	公用車燃料代

科 目	予 算 額			説 明
	本年度 千円	前年度 千円	増 減 千円	
賃借料	49,294	45,214	4,080	公用車等リース料等
修繕維持費	92,810	47,299	45,511	保守、メンテナンス費等
保険料	6,759	8,095	△ 1,336	事務所火災保険料、車両保険料等
車両リサイクル費	1	26	△ 25	車両リサイクル料金
損 害 評 価 費	38,438	22,458	15,980	
報酬	23,765	9,325	14,440	損害評価会委員、評価員報酬
旅費	2,350	1,445	905	損害評価会委員、評価員旅費
会議費	1,271	2,217	△ 946	損害評価会会議費等
賃金	219	1,219	△ 1,000	損害評価臨時雇上
賃借料	2,381	2,742	△ 361	損害評価用リカー代等
燃料費	1,060	1,541	△ 481	損害評価用燃料代
実測費	1,083	1,880	△ 797	実測燃料費、旅費等
実測器具購入費	386	50	336	損害評価用器具購入費
雑費	5,923	2,039	3,884	実測筆損料等
損 害 防 止 費	67,412	79,309	△ 11,897	防災事業収支予算明細のとおり
諸 税 負 担 金	23,078	20,033	3,045	
公課費	9,804	8,686	1,118	固定資産税、法人税等
協会負担金	6,966	7,216	△ 250	全国農業共済協会負担金
関係団体負担金	6,308	4,131	2,177	各種団体負担金
事 業 勘 定 繰 入	24,332	29,923	△ 5,591	
家畜共済勘定繰入	11,695	9,127	2,568	特定損害防止事業費、家畜診療所補填
農機具更新共済勘定繰入	12,637	20,796	△ 8,159	農機具更新勘定受取利息
拋出金払戻準備金繰入	1	1	0	
業務貸倒引当金繰入	1	1	0	平成27年分水稲賦課金
業 務 雑 費	2,508	4,147	△ 1,639	
建 設 引 当 金 繰 入	1	1	0	
修 繕 引 当 金 繰 入	1	1	0	

科 目	予 算 額			説 明
	本年度	前年度	増 減	
	千円	千円	千円	
更 新 引 当 金 繰 入	1	1	0	
業 務 引 当 金 繰 入	1	40,000	△ 39,999	
固定資産自己財源取得費	8,181	14,864	△ 6,683	
外部出資費	1	1	0	
有形固定資産取得費	8,160	14,843	△ 6,683	公用車更新、リース債務
無形固定資産取得費	20	20	0	車両リサイクル預託金
リース資産除去損	1	1	0	
リース債務解約損	1	1	0	
事業運営強化準備金繰入	1	1	0	
事務機械化整備準備金繰入	1	1	0	
退職給与施設転貸福祉貸付支払利息	237	101	136	
有 価 証 券 処 分 損	0	1	△ 1	
有 価 証 券 評 価 損	1	1	0	
業 務 財 産 処 分 損	1	1	0	
業 務 雑 損 失	1	21,000	△ 20,999	
予 備 費	9,078	10,018	△ 940	
合 計	2,560,876	2,368,281	192,595	

(2) 防災事業収支予算明細

科 目	本 年 度 予 算 額			前 年 度 予 算 額			増減(△)	備 考
	総額(A)	一般	家畜特損	総額(B)	一般	家畜特損	(A)-(B)	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
受取補助金	5,733	3,362	2,371	5,618	3,061	2,557	115	
家畜特損事業費(国庫)	2,371	0	2,371	2,557	0	2,557	△ 186	
損害防止費補助金(市町村)	3,362	3,362	0	3,061	3,061	0	301	
防災賦課金	2,925	1,344	1,581	2,366	0	2,366	559	
家畜共済割	2,925	1,344	1,581	2,366	0	2,366	559	
損害防止収入	1	1	0	1	1	0	0	
事業勘定受入	0	0	0	0	0	0	0	
農作物共済勘定受入	0	0	0	0	0	0	0	
家畜共済勘定受入	0	0	0	0	0	0	0	
果樹共済勘定受入	0	0	0	0	0	0	0	
畑作物共済勘定受入	0	0	0	0	0	0	0	
園芸施設共済勘定受入	0	0	0	0	0	0	0	
業務受入額	60,340	60,340	0	73,836	73,836	0	△ 13,496	
収 入 計	68,999	65,047	3,952	81,821	76,898	4,923	△ 12,822	
事務費	11	0	11	11	0	11	0	
図書印刷費	11	0	11	11	0	11	0	
損害防止費	67,412	65,047	2,365	79,309	76,898	2,411	△ 11,897	
薬剤費	26,272	26,272	0	33,827	33,564	263	△ 7,555	
賃金	0	0	0	0	0	0	0	
賃借料	405	405	0	403	403	0	2	
燃料費	5	5	0	4	4	0	1	
技術者雇上料	0	0	0	608	0	608	△ 608	
旅費	0	0	0	0	0	0	0	
器具購入費	0	0	0	30	30	0	△ 30	
修理費	379	379	0	350	350	0	29	
委託費	4,945	2,580	2,365	4,150	2,610	1,540	795	
雑費	35,406	35,406	0	39,937	39,937	0	△ 4,531	
事業勘定繰入	1,576	0	1,576	2,501	0	2,501	△ 925	
固定資産自己財源取得費	0	0	0	0	0	0	0	
支 出 計	68,999	65,047	3,952	81,821	76,898	4,923	△ 12,822	

(3) 家畜診療所収支予算明細

科 目	予 算 額			説 明
	本年度	前年度	増減(△)	
	千円	千円	千円	
病傷事故診療収入	59,752	65,133	5,381	診療収入、初診料等
病傷事故外診療収入	46,805	42,593	4,212	共済対象外診療収入等
家畜共済掛金乙額	116,536	121,540	△ 5,004	掛金の内技術料相当分
家畜受取補助金	66,750	58,115	8,635	市町村、J A等
業務勘定受入	11,695	9,127	2,568	特定損害防止事業等
雑収入	38,066	39,577	△ 1,511	人工授精、予防注射、精液代等
家畜雑利益	22	22	0	
収 入 計	339,626	336,107	3,519	
診療人件費	168,375	162,631	5,744	
職員給料手当	135,216	130,779	4,437	獣医師
法定福利費	24,721	23,726	995	社会保険料等
厚生福利費	580	497	83	健康診断料等
退職給与引当金繰入	7,858	7,629	229	
往診旅費	10	10	0	
一般旅費	459	528	△ 69	研修、出張旅費
診療補填金	35,595	35,412	183	指定獣医師の技術料
嘱託獣医費	19,377	20,376	△ 999	嘱託獣医師の技術料
診療所維持費	9,266	7,231	2,035	
賃借料	1,412	1,062	350	事務所使用料等
事務費	1,658	1,373	285	
光熱水費	1,183	967	216	
保険料	1,226	997	229	診療車保険料
公課費	1,724	1,108	616	消費税、自動車税
修理費	2,063	1,724	339	診療車修理代、維持経費等
往診費	5,140	5,670	△ 530	診療車燃料代
賃借料	4,362	5,046	△ 684	診療車、医療機器等のリース代
嘱託診療費	7,628	8,422	△ 794	嘱託獣医師の直接費
医療品消耗費	80,415	82,138	△ 1,723	医薬品、消耗品使用代
委託費	334	366	△ 32	使用済注射器等廃棄処分委託費
雑費	4,180	4,384	△ 204	精液・血液検査代
減価償却費	4,375	3,833	542	診療車、医療器具機械
家畜財産処分損	40	40	0	診療器具処分
家畜雑損失	70	20	50	
支 出 計	339,626	336,107	3,519	
過 不 足	0	0	0	

